

野田文化講演会

後援 野田市文化団体協議会

にんげんだもの ～父・相田みつをの書と言葉～

変わらないものだけを見つめ、毎日を新鮮に生き、裸の自分を語り続けてきた父・相田みつを、心の歳時記ともいえる作品集「にんげんだもの」を通して、父の思いや生き方、作品の背景などについて語ります。

○日 時 令和5年2月25日(土)
14:00～15:30(開場13:00)

○会 場 興風会館(野田市野田250)
※東武野田線野田市駅より徒歩10分

○入 場 料 1,000円 **【原則、前売り券のみ販売】**

チケット好評発売中

※事前にご来館の上、チケットをご購入頂ける方のみとなります。
発券状況により当日券を販売する場合がありますので、お問合せの上、ご確認ください。

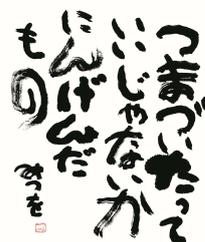
○定 員 350名 **【全席指定席】**
※未就学児の入場はご遠慮頂いております。

【講師紹介】

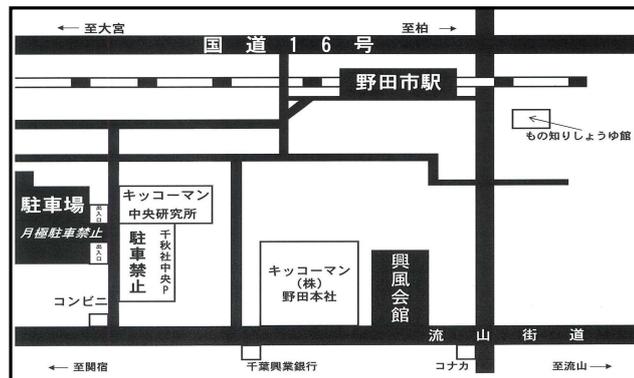
相田みつを美術館館長

相田 一人 氏(あいだ かずひと)

1955年栃木県足利市生まれ。書家・詩人 相田みつをの長男。出版社勤務を経て、1996年、東京銀座に相田みつを美術館を開館。『じぶんの花を』『本気』『ある日自分へ』(文化出版局)、『いまからここから』(ダイヤモンド社)などの編集、監修に携わる。著書に『父 相田みつを』(角川文庫)『書 相田みつを』『相田みつを 肩書きのない人生』(文化出版局)などがある。2003年11月、東京国際フォーラムに美術館を移転。現在、美術館業務の傍ら、全国各地での講演活動や執筆活動を行っている。



【会場・駐車場案内図】



【新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応について】

- ①ソーシャルディスタンスの確保②検温(37.5℃以上の方の入場はご遠慮頂きます)③手指消毒④入場数制限
○お越しの際には必ずマスクのご用意をお願い致します。

【お問い合わせ及びチケット販売】9:30～16:30(月曜・第2木曜・祝日を除く。)
公益財団法人興風会 Tel04-7122-2191

【協賛】ほのぼの会・田代新聞店・渡邊新聞販売・大塚新聞販売・アーク・久保新聞販売

※コロナウイルスの感染状況により、中止及び延期する場合がございますので、事前に当会ホームページ・お電話でご確認ください。